

「原発ゼロ」調布行動 ニュース 2022年12月12日

私的サイト「草の庵」kusanoiori.raindrop.jp の一角に「調布・市民運動情報」という赤いボタンを設置しました。メールがうまく見れない場合は当座、そちらのサイトから閲覧してください。(編集部)

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。今日は、フクシマから11年9か月の12月11日(日)の「第120回行動」の報告と、来年1月11日(水)に行なう「第121回行動」のご案内をお届けします。(編集者)

原発政策の大転換を許さない



第120回「原発ゼロ」調布行動は70人!

今回の司会・進行は前回に続いて新婦人のみなさん。司会は大松由紀子さん、進行は矢野純子さんと松本加代子さん、記録は大橋美知代さん、マイクなど機材準備は鈴木勝雄さん、写真は鈴木彰が受け持ちました。(編集部)



◆ 司会(大松) 今日進行の担当は先月に続いて新婦人です。「原発ゼロ行動への参加呼びかけ」のちらしを市民のみなさんに配りながら進めます。

◆ 最初に調布合唱団有志の歌。

「ねがい」 広島大州中学校の生徒さんの作詞

「夜明け前の歌」 ピートシガー



◆ 沼倉淳さん(多摩市、とめよう東海第二原発首都圏連絡会) 岸田内閣が原発推進政策に大転換の方針を強めている。これまで原則 40 年と決めていた原発の運転期間に例外規定として 60 年を認めた。高浜原発はできてからすでに 47 年になるが、原発は動かさなくても老朽化する。それを再稼働するなどんでもないことだ。さらに岸田内閣は原発の新增設も言っているが、福島で事故の後始末も、放射能汚染の打開策も打てていないのにありえないことだ。原発はなくても電力は賄える。原発推進策に反対し、原発を無くす運動を大きくしてこう。



◆ 三宅征子さん(柴崎) 「3・11 子ども甲状腺がん裁判」が行なわれているので報告したい。当事者の子ども(17才~27才)が全国で発言している。Aさん「あの年の3・11は合格発表の日、それを見に行っていて被曝した」、Bさん「薬を飲み続けている。辛い。病気になったのが身内や友人でなく自分でよかった。裁判官のあなたのお子さんでなくてよかった。せめて治療費の補助をお願いします」。こういう切実な思いを7人の方が訴えていたが、他の多くの子どもたちも支えていきたいと思った。来年1月25日11時半から東海地裁で「子ども甲状腺がん訴訟の口頭弁論」が行なわれる。この裁判は、早く治療が受けられるように、国・県を相手にしないで東電のみを被告として戦われている。



◆ 佐橋正文さん(西つつじヶ丘) 120回目の行動ご苦労さま。引き続き「原発ゼロ」をめざして頑張りましょう。電気は足りている。安全な再生エネルギー増えている。動かせばごみが出る原発はいらない。原発事故がおきたら逃げ場はない。なくしないと生きていけない。危険な老朽原発はすぐに廃炉に！岸田政権を倒して、政治の

見直しを！

◆ 東京土建調布支部の若者たち

- ・ 中野さん(菊野台) 原子力の暴走による多大な被害を福島で見てきた、またいつ起こるかわからない。ゴミ処理の問題もある。絶対に止めたい。
- ・ 佐川さん(深大寺) 廃炉資料館を見学した。汚染処理の対策も示されていない原発を動かしてはいけない。原発反対の声を大きくしたい！
- ・ 守西さん(下石原) 今年の夏、相馬焼の窯元は立ち入り禁止になっていてとても生活できる状況ではなかった。近くに移転して里に活気が戻るまで支えたい。
- ・ 新井靖雄さん(東つつじヶ丘) 発表の場をありがとう。



◆ 福田藤夫さん(調布原水協理事) 今調布でも若い人の集まりで核兵器廃絶の運動を進めて行こうという動きが強まっている。この運動を地道に続けていくことが大切だと思っている。

◆ 河野良彦さん(布田、被爆者「調友会」) 原発はキナ臭い、原爆と同じだ。GX実行会議とはクリーンなエネルギーを使おうという趣旨のものだが、原発中心になっている。この実行会議が先の選挙の後に原発の方針を提示したが、この会議の性格を示すものになっている。老朽原発の進め方に問題がある。新しい原発を作ることには20年30年ではできない。この実行会議が出した案に、しっかり反対していきたい。



◆ 歌 一人から一人へ(核兵器廃絶をねがって)

◆ 鈴木ヒデヨさん(国領、樹木の会) 核のない日本、原発政策の怒りを常に考えながら、この場で発言している。この駅前広場の工事のことだが、来年からロータリー拡張が始まり、集会の場も狭まろうとしている。数々の問題を抱えたままで10年前の計画を進めようとしている。トイレは、5~6m南へ移す計画。東の道も狭める。利用しにくくなる。市民の声をもっと市に届けよう。



◆ 古川博資さん(多摩川) 憲法の原理は国民主権。国民の国民による国民のための政治。戦争の放棄。この大原則を自民党は踏みにじっている。いま日本は戦争に巻き込まれる前夜を迎えている。これが国会で審議されず、閣議決定で進められていることを許すわけにはいかない。法律は国会でこそ審議すべきだ。

◆ 藤田進さん(つつじヶ丘) 日本の原発を再稼働して運転期間を60年に延ばすことにどうしても納得できない。世界ではインドの53年が最長だが、にほんではこれを超えようとしている。高浜原発は37年だが事故が多い。2025年には再生可能エネルギーが世界で最多になり、原発は時代遅れになる。再生エネルギーに変える政策を求めて行こう。



◆ 鈴木彰さん(多摩川) 120回も続けてきた。頑張ったね。だが120回続けてもまだ「原発ゼロ」の見通しが立たないのは残念。それどころか政府は、原発稼働期間の延長、新增設、これに加えて軍事費の倍増まで宣言した。まさにこの年末は天下分け目のなかで迎えている。来年は政府にお灸をすえよう。

◆ 歌 ふるさと

◆ 120回目の行動を記念してみんなで記念撮影！

第121回「原発ゼロ」調布行動

日時：2023年1月11日(水)

10時半～11時半

於：調布駅前

今回は新年を迎えて1月11日。福島原発事故から11年10か月！調布では第121回目能動になります。1月と2月の企画・進行・司会は、「原発のない暮らし@ちょうふ」のみなさんが引き受けてくれます。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってみようというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*コロナ・ウイルスへの感染防止の対策をこらして(体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を)ご参加ください。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！